

東通原子力発電所 1・2号機新設に係る 環境監視調査結果（平成25年度）について

東京電力（株）では、平成19年度より建設工事中の環境監視の調査を行っています。現在、東通原子力発電所の本格工事を見合わせていることに伴い、平成23年度以降「大気質」「騒音」「振動」の環境監視の頻度を見直しております。

平成25年度の調査の結果として「大気質」「振動」「水質」につきましては、環境基準値・環境目標値を下回っていました。

「騒音」につきましては、横浜町家ノ前川目において環境基準値と比較すると基準をわずかに超えていましたが、この値は建設工事開始前の平成13年度の調査結果と同等な値でした。

また、旧小田野沢小中学校近傍において、夜間の環境騒音が環境基準値と比較すると基準をわずかに超えていましたが、平成25年度は夜間の作業は実施していないため、夜間を通して連続的に聞こえていた虫の鳴き声が影響したものと思われま

す。
なお、これらの地域は「環境基本法」に基づく騒音に係る環境基準の類型に指定されていない地域です。

「地形及び地質」「陸域に生育する植物」「海域に生育、生息する動植物」につきましては平成19年度～平成24年度と比較した結果、大きな変化はありませんでした。

以上の結果より、発電所建設工事が周辺環境に与える影響は、現時点では小さいものと評価いたしました。

調査結果の詳細につきましては、「東通原子力発電所1・2号機新設に係る環境監視調査結果報告書（平成25年度）」として、トントウビレッジ内の原子力情報コーナーにて閲覧が可能です。

以 上